

# 中等社会科教育研究

## 25

### 【研究論文】

- 1930年前後の植民地朝鮮における郷土史授業 …………… 國 分 麻 里 (1)  
 戦時下における生活綴方運動の展開と変容 …………… 高 橋 健 司 (13)  
 高等学校地理における「地理的な見方や考え方」の指導方法について  
 …………… 西 野 守 郎 (27)  
 全村教育運動下の郷土教育と労作教育の変容 …………… 森 岡 孝 文 (43)

### 【実践論文】

- 三重県の地域的特色をとらえる中学校地理授業「私たちの住む三重県」  
 …………… 藤 森 秀 明 (53)

### 【授業レポート】

- 小学校社会科における「身近な地域」学習の授業展開 …………… 内 川 健 (65)  
 日本史教育における校外学習の役割 …………… 加 藤 将 (69)

### 【社会科教育情報】

- 「南洋」の戦跡・慰霊顕彰施設について …………… 大 庭 大 輝 (75)  
 社会科教育における「イノベーション」教材化の視点 …………… 三 橋 浩 志 (77)

### 【書評】

- 『社会科教育と地域 -基礎・基本の理論と実践-』 …………… 林 琢 也 (81)  
 『社会科 -現代 問われている世界-』 …………… 藤 井 大 亮 (84)

### 【図書紹介】

- 『史料が語るビザンツ世界』 …………… 藤 本 和 哉 (86)

### 【研究会報告】

- 第25回 研究大会報告 …………… (87)

### 【学会彙報】

- 2006年度 学会活動報告 …………… (91)  
 事務局だより …………… (92)  
 中等社会科教育学会申込書 …………… (93)  
 2006-2007年度 中等社会科教育学会役員 …………… (94)

## 中等社会科教育学会

## 2006

## 中等社会科教育学会会則

第1条 本会は中等社会科教育学会と称する。

第2条 本会は社会科教育および地理歴史科教育・公民科教育に関する研究を行い、あわせて会員相互の連帯をはかることを目的とする。

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。

1. 研究会・例会の開催
2. 機関誌・会報の発行
3. 資料の収集・交換
4. その他必要と認められるもの

第4条 本会の会員は、本会の趣旨に賛同する者で、所定の会費を納入した者とする。

第5条 本会の本部は、筑波大学大学院人間総合科学研究科社会科教育学研究室におく。

第6条 本会は次の役員をおく。

会 長 1名  
副会長 2名  
評議員 若干名  
理 事 若干名  
会計監査 2名

2. 評議員および会計監査は総会において選出する。
3. 会長および副会長は理事会で選出する。
4. 理事は総会の承認を得て、会長が委嘱する。
5. 役員任期は2年とする。ただし、再選は妨げない。

第7条 会長は本会を代表し、会務を総括する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故などがあつたときにはその職務を代行する。
3. 評議員は評議員会を構成し、重要な会務を運営する。
4. 理事は理事会を構成し、会長をたすけて会務を運営する。
5. 会計監査は、本会の会計を監査する。

第8条 本会には顧問をおくことができる。顧問は総会の承認を得て会長が委嘱する。

第9条 本会の会議は、総会、評議員会および理事会とする。

2. 総会は毎年1回会長が招集する。
3. 必要ある場合、会長は臨時総会を招集することができる。
4. 総会の議決決定は、出席会員の過半数をもって行う。
5. 評議員会は、会長、副会長、評議員、理事、会計監査、顧問をもって構成し、会長の招集によって会務を審議する。
6. 理事会は会長が招集する。

第10条 本会の経費は、会費、寄付金、その他をもってこれに充てる。

2. 本会の会費は年額3,000円とし、毎年6月末日までに納入するものとする。なお、学生会員は2,000円とする。
3. 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

第11条 会則の改正は、総会の議を経なければならない。

付 則 この会の会則は、平成17年11月19日から施行する。

## 編集後記

本号は、「中等社会科教育研究」へと学会誌名が変更となって2回目のはっこうとなる。本号も多くの論稿を掲載でき、また多くの社会科教育にかかわる情報が提供できた。投稿して頂いた会員、および情報を提供して下さった会員の皆様に厚くお礼申し上げます。さらに査読制度も確立し、投稿された論文は、より一層精練されたのではないかと考えている。査読に協力して頂いた方々にも厚くお礼申し上げます。

社会科は、次回の学習指導要領の改訂で、どうなるか全く予断を許さない状況にある。しかし、それだからこそ、地道な研究、教育が重要となってくる。「中等社会科教育研究」が少しでも、そのような研究、教育に貢献できれば望外の喜びである。

編集事務局は、2年間担当された筑波大学附属高等学校の野口剛先生から、お茶の水女子大学附属中学校の寺本誠先生に代わる。編集事務局には大変な負担がかかっている。野口先生の労をねぎらうとともに、寺本先生にはお世話になります。会員の皆様には、次号でも多くの論文や情報を投稿して頂くことをお願いいたします。その際、編集事務局が代わるので投稿の際の宛先が変わります。ご注意ください。今後とも、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(井田仁康)

## 編集委員会

委員長	井田 仁康 (筑波大学)
委員	大野 新 (筑波大学附属中・高等学校)
	栗原 久 (信州大学)
	須賀 忠芳 (福島県立会津高等学校)
	田尻 信壹 (富山大学)
	寺本 誠 (お茶の水女子大学附属中学校)
	野口 剛 (筑波大学附属高等学校)
	平久江祐司 (筑波大学)
	谷田部玲生 (国立教育政策研究所)

**中等社会科教育研究 第25号**

2006年（平成18年）12月17日印刷  
2006年（平成18年）12月31日発行

編集 「中等社会科教育研究」編集委員会

発行者 中等社会科教育学会（代表 谷川彰英）  
305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1  
筑波大学教育学系 井田仁康研究室  
電話 029-853-6731

印刷所 有限会社 甲文堂  
112-0012 東京都文京区大塚3-5-9  
電話 03-3947-0844  
FAX 03-3947-0858

# Multiple Perspectives

An Official Journal of the Social Education and Research Association

No.25

2006

## Contents

### Articles

Classes of Local History under the Colonial Period in Korea around 1930  
.....Mari KOKUBU (1)

A Development and Change of the Movement of SEIKATSU-TSUZURIKATA  
under the Period of War .....Kenji TAKAHASHI (13)

Instructional Methods of Geographical Skills in High School  
.....Morio NISHINO (27)

A Transformation on Nativeland Education and Manual Labor Education  
under the Movement of Whole Village Education .....Takafumi MORIOKA (43)

### Articles on Teaching Practice

Developing a Geographical Class in Junior High School from the view  
of understanding Geographical Characteristics:  
In Case of "Mie Prefecture as our hometown" .....Hideaki HUIJIMORI (53)

### Classroom Date

A Class of Community Learning in Social Studies in Special Elementary School  
.....Ken UCHIKAWA (65)

A Role of Field Trips in Education of Japanese History .....Shoh KATO (69)